

Hot Potatoes™で インターネット教材を 作ってみよう

荒尾 浩子 Arao Hiroko
(三重大学)



Hot Potatoes の JMatch で作成したマッチングの問題。学習者は右の英単語を左の意味を示す絵の横にドラッグして合わせる。

※ソフト自体は学校の先生が非営利目的の教育上使用する限りには無料です。

e-Learning の英語教育における活用が注目され久しくなります。先生方の中には生徒のニーズやレベル、予算、教材配布の利便性から自作のインターネット教材 (Web 上で学ぶ教材) に関心をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回ご紹介するのは Hot Potatoes™ という教材作成ソフトです。このソフトは Web 上からダウンロードでき、使い方もマスターすれば誰でも簡単にインターネット教材が作成できますので是非お試し下さい。

まずは <http://hotpot.uvic.ca/> からソフトをダウンロードします。作成できるエクササイズは 5 種類 (① JCloze / ② JMatch / ③ JQuiz / ④ JCross / ⑤ JMix) があり、どれもインタラクティブに作動し画像を加え、文字や色を調整することが可能です。

① JCloze は穴埋め問題の作成です。テキストを打ち込み、隠したい部分を選び「Gap ボタン」を押すと自動的に穴ができヒントも作成できます。学習者はタイプして解答するのでスペルがおざなりになりません。② JMatch はマッチング問題の作成です。文字と文字の結びつけだけでなく絵と文字の組み合わせも可能です。自動的にシャッフルして左右バラバラに問題提示してくれます。学習者の解答法もスタンダードとドラッグ&ドロップの 2 つあります。スタンダードは選択肢のボックスをドラッグして答えを選びます。ドラッグ&ドロップのほうがより学習者はコントロール感を楽しめます (上記の写真)。ゲーム感覚で次々進んでいけるので知らぬ間に多くの問題に取り組めます。③ JQuiz は質問に答えるクイズ形式の問題作成です。多肢選択、ショートアンサー、これら 2 つを組み合わせ合わせたハイブリッド、正解が複数ある複数選択問題

と 4 つのタイプがあります。多肢選択を例に挙げれば、問題文、4 つの選択肢の入力、正解へのチェック、各選択肢へのフィードバックコメントの入力のみが作業です。このコメントによって作成者はただ発問するだけでなくサポートしながら導き励ます促進者として関与できます。④ JCross はクロスワードクイズの作成です。マスに文字を入れ、手がかりとなる言葉を入力するだけです。また単語さえ入力すれば自動的に単語の並びを縦横作成が可能ですので大幅な時間削減となります。最後の⑤ JMix は並べ替え問題の作成です。文章レベルでも単語レベルでも可能です。文章レベルの場合なら単語を正しい順序に縦に入力するだけです。解答法は JMatch 同様、2 通りあります。ドラッグ&ドロップの場合なら学習者はバラバラに並んだ単語を順番に選び解答欄にドラッグして置いていきます。学習者は、目で確認しながら並べていき納得いくまで何度もやり直しがききます。

すべてのエクササイズは得点を表示し連携させてページ提示できます。作成後はアップロードしてすぐ Web 上で使用可能です。自動的にエクササイズを統合し大規模にしたい場合は、ライセンスを購入し、The Masher というプログラムを使用します。作成した教材はインターネット教材として教室外での自習用としてはもちろん、教室内ではプロジェクターで映しクラス全体で活用することも有効です。何より使用が簡単であるというのは忙しい先生にとっては魅力です。複雑なものは長続きしません。このソフトを使用すればいつものワークシートと同じ手軽さで教材作成でき、修正、更新も簡単ですので、本当にお勧めです。